

NEWS RELEASE

No. 16-12

2016年11月16日

公益財団法人 損害保険事業総合研究所

2015年度本科講座の成績優秀者を表彰

2015年度本科講座（5クラス編成）の修了認定を行い、各クラスの成績上位10%以内の46名を成績優秀者として表彰した（成績優秀者は後掲）。本講座終了時の登録者数は614名、修了者数は445名で修了率は72.5%であった。

成績優秀者のうち、更に各クラス上位3名（計15名）には「本科特別成績優秀賞」を授与する。

この特別成績優秀賞については、来たる2017年1月16日（月）に東京 御茶ノ水の山の上ホテルに於いて表彰式とともに昼食会・情報交換会を開催する。

本科講座は、損害保険の基本的・体系的な知識の習得を目的としており、通信科目8科目とスクーリングで構成されている。

最終カリキュラムであるスクーリングは、今年7月～9月に東京の損保会館にて、各クラス2日半の日程で実施され、全国から計606名が参加した。

この集合研修ではスクーリング試験科目の講義と試験の他に、特別講義「コンプライアンス」（中央大学法科大学院 野村修也教授）、「脱炭素時代の到来とビジネスのリコンストラクション」（法政大学人間環境学部 長谷川直哉教授）、「損保業界の現状と課題」（一般社団法人 日本損害保険協会常務理事 深田一政氏、鈴木 毅氏）やワークショップを実施した。

ワークショップは、慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科の講師陣を招き、「システム思考×デザイン思考でイノベティブに考える」をテーマに約4時間にわたる受講生同士のグループワークを通して闊達な討議や意見交換を行った。

この他、今回からはスクーリング試験科目のうち、専門的な学習内容であるという声が多かった「損害保険会計」については、スクーリングでの講義からWeb配信によるビデオ講義学習に移行した。スマートフォンやタブレットにも対応しており、時間と場所を選ばずに自分のペースで学習しやすかったという声も多かった。

昨年夏の開講からスクーリングまでを振り返り、受講生から寄せられたアンケート、次年度生へ向けたメッセージには、以下のようなものがあった。

- ・各保険会社の若手社員が一同に受講する非常に重要なプログラムで、知識を深めることはもちろん、他社の方々とレポートやテストを通じて意識を高め合うことができ、有意義だと感じた。
- ・最終カリキュラムのスクーリングでは、講義やグループワークを通して他社の皆さんと交流ができ、ネットワークを広げることができたので、これから学習を始める人も最後まで諦めずにチャレンジしてほしい。
- ・これまで、本科講座を受講する機会を得られないまま損保業界で働いてきたが、本科講座で幅広く理論体系を学んだことで、見える景色ががらりと変わった。
- ・入社時は一般職採用だったため、本講座の受講機会はなかったが、今から考えると、この講座を受けていたら保険全般がわかりお客様対応なども違っていただと感じた。
- ・自身の知らないことを実感したり、今後の会社人生を考えたり、自身の成長へのきっかけの機会となる最高の講座だと思った。
- ・学習教材・参考資料の精読→Web テスト・レポートでの理解度の確認→事後の振り返りのサイクルにより、理解を一層深めることができた。
- ・損保業界で働くために必要な基礎知識を無理なく効率的に身に付けられるプログラムになっており、テキスト、教材は読み物としても面白く、Web 講義を視聴するとモチベーションがあがった。推奨されている参考文献や論文等も読みながら課題に取り組み、理解度がぐっと深まることを実感できた。
- ・お客様からの電話で、損保市場に関する話題に発展した際、本講座で学んだ知識を基に話をすることができた。「さすが保険のプロですね」という言葉をもらうことができた時は、本講座の学習を続けてきてよかったと強く感じた。
- ・目の前の業務のみならず、業界全体のトレンドや今後直面する問題について改めて考えさせられた。ビッグデータ、クラウドサービス、人工知能、自動運転などなど、我々の生活を取り巻く環境を目覚ましく変えていく技術がどんどん生み出され、活用される中、保険ビジネスがどう変わるか考えさせてもらえた。
- ・意見を求められたり、あるいは様々な判断をしていく中、学んだことを中心に据えることでブレない基準を持つことができるようになった。自社の思想や思考に偏りがちだが、保険市場という大きな視点で物事を見る癖をつけていくことが、会社を越えた業界人としての損保人として成長していくための鍵のように思う。

本科講座の修了およびその学習効果は、本人の努力もさることながら受講生を送り出す職場の上司やメンバーが受講に関心を持ち、励ますことが大切であり、損保総研から受講各社にもこの重要性を継続的に伝えて受講環境の改善を働きかけている。

損保総研は、本科講座がより充実した内容をご提供できるよう、受講各社人事とも情報交換を行い、学習効果の向上に努めていく。

【2015 年度本科講座の受講スケジュールおよび受講科目】

クラス	レポート指導期間	スクーリング
A	2015 年 7 月～2016 年 5 月	2016 年 7 月 6 日～8 日
B	2015 年 7 月～2016 年 5 月	2016 年 7 月 20 日～22 日
C	2015 年 8 月～2016 年 6 月	2016 年 8 月 3 日～ 5 日
D	2015 年 8 月～2016 年 6 月	2016 年 8 月 24 日～26 日
E	2015 年 9 月～2016 年 7 月	2016 年 9 月 7 日～9 日

通信科目：保険総論、損害保険市場論、保険契約法、保険業法、リスクマネジメント、再保険論、事故対応実務の基礎、海上保険論

スクーリング試験科目：金融の基礎知識、火災保険論、自動車保険論、新種保険論、損害保険会計

スクーリング特別講義：「コンプライアンス」、「脱炭素時代の到来とビジネスのリコンストラクション」、「損保業界の現状と課題」

本件に関するお問い合わせ先

〒101-8335 千代田区神田淡路町 2-9
公益財団法人 損害保険事業総合研究所
教育研修部 田中 TEL 03-3255-5512

この資料は、保険関係業界紙各社へ同時に配布しております。